

研修目的

呼吸器内科が扱う疾患は、喘息・COPD、間質性肺疾患、悪性腫瘍、感染症、肺循環障害、睡眠呼吸障害、希少疾患など多岐にわたる。咳、痰、発熱、息切れ、胸部異常陰影などがきっかけで診断に至ることも多い。非特異的な症状から特定の呼吸器疾患の診断や最適な治療を選択する技術が必要である。プライマリーケアの基本的な診療能力を背景とした呼吸器内科専門医としての知識、態度ならびに技能を習得する。

習得できるアウトカム（能力）

1) 必ず習得できるアウトカム（能力）

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

患者やその家族に共感的な態度で接することができる。

B. 資質・能力

退院サマリーを作成できる。学会やカンファレンスで症例呈示を行える。

メディカルスタッフとコミュニケーションをとることができる。

C. 基本的診療業務

呼吸器疾患の病歴聴取と身体診察（特に呼吸音の聴取）を行い、鑑別疾患を挙げられる。

血液検査、呼吸機能検査、微生物学的検査および胸部 X 線、CT/MRI、核医学検査などの画像検査をオーダーし正しく解釈できる。動脈血液ガス分析を行い、呼吸不全を理解し、指導医の指導のもと適切な呼吸管理ができる。問診で社会的背景を聞くことができる。

2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

患者の価値観、負担に配慮した、社会資源の利用などのサポート計画を立案できる。

B. 資質・能力

英語論文を作成できる。

C. 基本的診療業務

指導医と共に呼吸不全患者の診察、検査を行い、酸素療法およびハイフローセラピーやNIPPVを用いて適切な呼吸管理ができる。また、指導医とともに疾患の診断ならびに治療のために胸腔穿刺、胸腔ドレナージ、気管支鏡検査を施行する。

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

ローテーション終了時に研修内容を振り返り、次のローテーション先で何を学ぶべきかなど話し合う時間を設ける。

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	8:30～9:15 朝カンファレンス 9:15～9:45 朝回診	14:00～16:00 気管支鏡検査	16:00～17:00 夕回診
火	8:30～9:15 朝カンファレンス 9:15～9:45 朝回診	指導教官と Discussion	16:00～16:30 症例報告もしくは抄読会、16:30～退院支援会と医局会、17:00～夕回診
水	8:30～9:15 朝カンファレンス 9:15～9:45 朝回診	指導教官と Discussion	16:00～17:00 夕回診

木	8:30～9:15 朝カンファ レンス 9:15～9:45 朝回診	14:00～16:00 気管支鏡検 査	16:00～17:00 夕回診
金	8:30～9:15 朝カンファ レンス 9:15～9:45 朝回診	指導教官と Discussion	16:00～17:00 夕回診

指導責任者および指導医

指導責任者： 玉田 勉

指導医： 吉村成央、安達哲也、光根 歩、鈴木利央登、大友 梓

学会発表・論文作成に対する指導体制

指導医とともに経験した症例についてのまとめを研修医発表会や CPC さらに貴重な症例は学会などで積極的に発表して頂く。発表のための文献検索、スライド作製などの具体的な作業を含め複数の指導医が発表のための指導を行う。